



こあら組の子どもたちは今、身の回りの事を自分でやりたい気持ちがだんだん強くなり、いろいろなことをやってみようとする姿が多く見られるようになってきました。自分の体とおなじくらいの大きさのカバンを運び、中からエプロンやオムツ袋を出して所定の位置に片付けようとしています。たくさんの荷物をどこに片付けるのかわからず困っている時には保育者から「これはここだよ」と教えてもらったり、「ここ？」と自分から片付ける場所を聞いたりして片づけています。

登園後「ママがいい〜」「ママ〜」と泣いていた子も保育者の膝に座り落ち着くと「カバンのお片付けしよっか」と声をかけられた事で気分転換となり、笑顔で片付けていました。

これからも保育者に手伝ってもらいながら、身の回りのことを自分で少しずつ行なっていけるようにしていきたいと思います。



園庭や散歩など戸外に出る時は、自分たちで靴箱から自分の靴を出します。くつも自分で履いてみようとしてチャレンジしていますが、思うように足が入らないなどまだまだこれから！！手を添えて手助けするなどしながら自分でできたという達成感をたくさん味わっていただけたいと思います。

